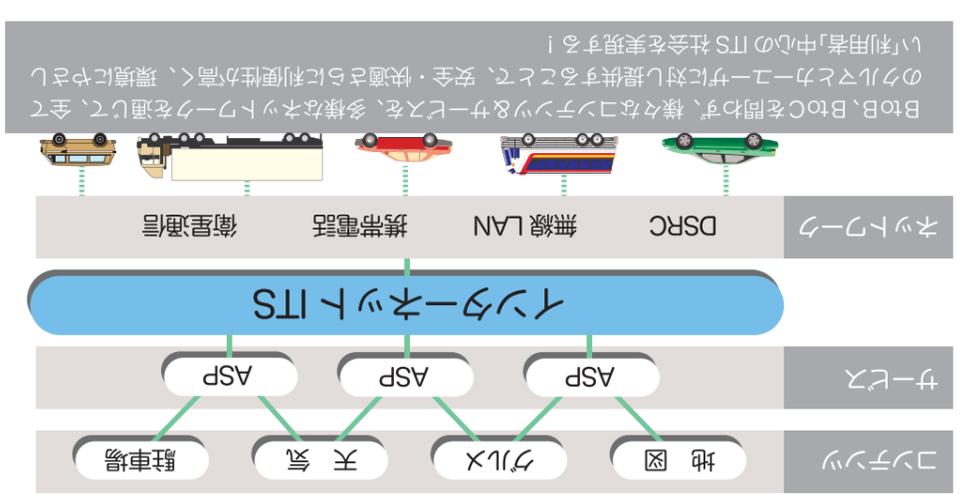


02 IICの活動テーマ
 IIC仕様車載機に代表される基礎システムと4つの基礎サービスの事業化準備を活動テーマとして推進



01 IICの掲げるビジョン
 利用者が主役のITS社会を実現
 主なテーマは安全・快適・利便・環境
 BtoB、BtoCを問わず、様々なコネクティブ&サービスを、多様なネットワークを通じて、全てのクルマとカーユーザに対し提供することで、安全・快適さらには利便性が高く、環境にやさしい「利用者」中心のITS社会を実現する！

インターネットITS協議会 (略称: IIC)

2010年7月14日~16日 東京ビッグサイト

インターネットITS協議会 成果発表会

いつでも、どこでも、つながる。インターネットITSではじまる、クルマの新しい世界。

インターネットITS協議会会員一覧 (計92社 2010.7.1 現在)

- 幹事会員 (9社)
 - KDDI株式会社
 - 新華情報システム株式会社
 - JX日鉱日石エネルギー株式会社
 - 株式会社デンソー
 - トヨタ自動車株式会社
 - 日本電気株式会社
 - 富士通株式会社
 - 株式会社プロードリーフ
 - モバイルキャスト株式会社
 - 正会員 (4社)
 - あいおい損害保険株式会社
 - 沖電気工業株式会社
 - シスコシステムズ合同会社
 - 矢崎計器株式会社
 - 賛助会員 (56社)
 - 株式会社IIC
 - アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
 - ITSアライアンス株式会社
 - アジア航測株式会社
 - アルパイン株式会社
 - 株式会社イーシーエス
 - インクリメント・ピー株式会社
 - 株式会社インターネットオートモビリティ研究所
 - インテル株式会社
 - 株式会社ウェザーニューズ
 - 株式会社宇佐美鉱油
 - 株式会社エス・ケイ
 - 株式会社NTTドコモ
 - QNXソフトウェアシステムズ株式会社
 - クラリオン株式会社
 - 株式会社クレディセゾン
 - 株式会社サイワークス
 - 三洋電機株式会社
 - 株式会社CSIソリューションズ
 - 株式会社ジェシービー
 - 新明和工業株式会社
 - 株式会社ゼンリン
 - 株式会社ゼンリンデータコム
 - 双日株式会社
 - ソニー株式会社
 - ソフトウェア興業株式会社
 - ソラン株式会社
 - 株式会社ソリトンシステムズ
 - 株式会社タツノ・メカトロニクス
 - 株式会社長大
 - 株式会社テクトム
 - 株式会社豊通エレクトロニクス
 - 西鉄情報システム株式会社
 - 日本オラル株式会社
 - 日本興亜損害保険株式会社
 - 日本精機株式会社
 - 日本無線株式会社
 - パーク24株式会社
 - パイオニア株式会社
 - 株式会社パトライト
 - 株式会社バランス
 - 株式会社日立製作所
 - フォルクスワーゲングループジャパン株式会社
 - 富士通株式会社
 - 船井電機株式会社
 - 株式会社ホリバアイテック
 - マツダ株式会社
 - 三菱重工業株式会社
 - 株式会社三菱総合研究所
 - ミツミ電機株式会社
 - ヤマフ株式会社
 - ヤマトシステム開発株式会社
 - ユービーアール株式会社
 - 菱洋エレクトロ株式会社
 - 株式会社ロータス
 - 特別会員 (22大学2団体)
 - 愛知県立大学
 - 愛知工科大学
 - 秋田大学
 - 宇宙航空研究開発機構
 - 岐阜大学
 - 九州大学
 - 九州工業大学
 - 九州産業大学
 - 熊本大学
 - 慶應義塾大学
 - 埼玉大学
 - 崇城大学
 - 大同工業大学
 - 千葉工業大学
 - 東京大学
 - 東京電機大学
 - 東京理科大学
 - 同志社大学
 - 長岡技術科学大学
 - 名古屋大学
 - 奈良先端科学技術大学院大学
 - 北海道大学
 - 南島原市商工会青年部
 - 明海大学
- インターネットITS協議会 事務局**

〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング5F
 TEL: 03-3500-3790 FAX: 03-3500-0005
<http://www.internetits.org/>
 lic-info@internetits.org

Internet ITS Consortium
 略称: IIC
- ※青字: 今回出展企業・団体

IIC黎明期 (2000)

第1期 基盤整備 (2004)

第2期 ビジネス開発 (2007)

第3期 事業化 (2010)

- 2000: IT戦略会議 (11月)
- 2001: 1500台クルマITS名古屋実証実験 (1月)
- 2002: 1500台クルマITS名古屋実証実験 (1月)
- 2003: 第2回総会
- 2004: 第3回総会 (3月)
- 2005: 第4回総会 (6月)
- 2006: 第5・6回総会 (6月)
- 2007: 第7回総会 (6月)
- 2008: 第8回総会 (7月)
- 2009: 第9回総会 (7月)
- 2010: 第10回総会 (7月)

03 IICの「これまで歩み」と「これから」の活動
 すべてのクルマとカーユーザがネットワークで繋がる世界へ

04

IIC仕様車載機の概要

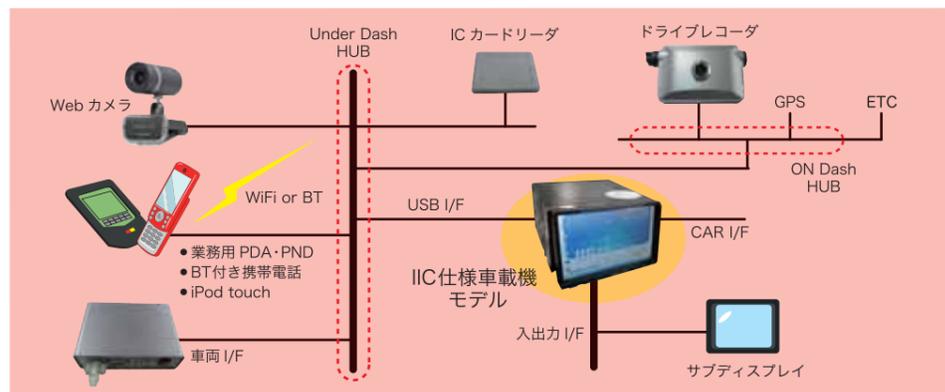
共通に必要な機能を標準化し、IIC仕様車載機としてオープンに活用することで、事業の広がりを加速

IIC仕様車載システムの機能と構成



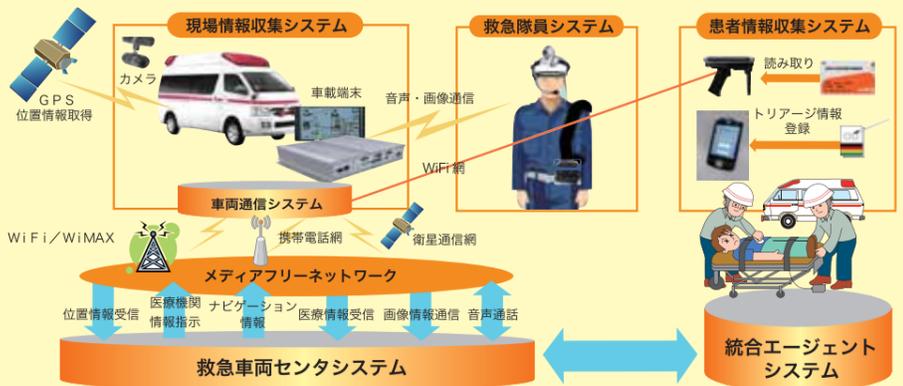
- 基本処理機能**
 - 複数の通信処理
 - 車両位置情報処理
 - カメラ情報収集・処理
 - 車両情報収集・処理
 - 外部機器接続
 - オーディオ処理
 - ナビゲーション
 - 緊急通報
- アプリケーション（標準）**
 - デジタルタコグラフ
 - ドライブレコーダ
 - 運行・配送指示
 - 訪問先（ユーザ）情報提供
 - 勤務情報収集・報告
 - 道路・交通・災害情報収集報告
 - ETC
 - 交通・災害情報受信
 - 車両メンテナンス情報収集・報告
 - POI 情報受信・表示
 - 広告受信・表示

共通に必要な機能および通信・車両・アプリケーション機器のインターフェースを標準化し、アプリのダウンロードによって、1台の車載機で複数のアプリを実現・提供できるシステム



車載 IT を活用した緊急医療体制の構築事例

■GEMITS (Global Emergency Medical support Intelligent Transport System)
 岐阜大学が中心となり構築してきた救急医療情報化の概念とIICの車載IT化技術の融合による救急医療支援情報流通システム。各救急病院よりリアルタイムに収集する医療資源情報とIT武装化した救急車両と救急隊員が収集する救急現場のあらゆる情報をマッチングさせることにより、患者にとって最適な搬送先を瞬時に判断する。2009年度経済産業省委託事業としてスタートし、現在基本要素技術の開発・検証が完了している。



GEMITS の展開方向



安全でエコな車載システムの構築事例

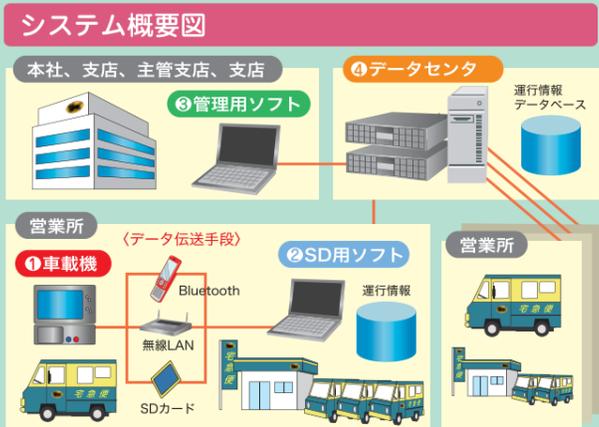
■See-T Navi (Safety Ecology Economy Transport Navigation System)

ヤマト運輸株式会社にて、運転の見える化を通しセールスドライバーの安全でエコな運転を支援するために開発・導入した車載システム。事前に登録したイベント情報（走行禁止エリア、危険エリア等）に基づき、運転中に音声アナウンスにてセールスドライバーへの注意喚起をする機能やイベント発生回数に基づく安全・エコ運転日報作成機能を搭載している。本システムは、2010年1月より順次搭載されており、2010年度末までに計32,000台の集配車に搭載する予定。



①車載機

タッチパネルディスプレイを採用した車載機にはCPUを搭載し、パソコンレベルの高性能を実現。新しい機器の増設にも柔軟に対応し、ソフトウェアを追加するだけで機能の拡充が容易にできるよう、拡張性を持って開発された。Bluetooth・無線LAN通信機能も備えているので、車載機にはいつでも最新の情報が表示される。デジタルタコグラフとドライブレコーダ機能を一体化したのも、本システムならではの。法定3要素（車速、距離、時間）の取得・記録のほか急発進・急加速などを音声で警告したり、停車時には画面上で運行距離や平均燃費が表示される。



②セールスドライバー (SD) 用ソフト

運転日報などの出力の他、電子地図に駐車箇所や危険エリア、走行禁止エリアなどを登録したり、車載機で収集した運行データの閲覧ができ、日々改善活動が行える。

③管理用ソフト

本社、支社、主管支店、支店の管理担当者が、管下車両の前日までの運行データを【車両/個人/事業所】などの項目別で閲覧・分析し、指導することが可能。

④データセンター

ヤマトシステム開発株式会社でのデータセンターで、電子地図に登録した情報や運行でデータを管理する。

05

IICのビジネスモデル

会員の事業分野が拡大するためのビジネスモデルを構築

